

名木第11号マルバヤナギ（診断結果）



【診断について】

※R 8年4月22日

外観診断・精密診断を実施

●腐朽空洞率 26%

●健全度判断 B2（著しい被害）

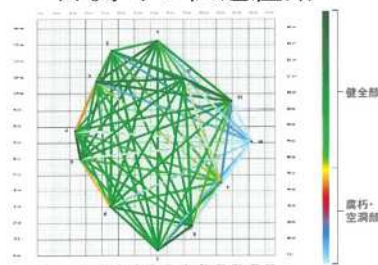
●診断結果

梢端枯れ、大枝の枯損、開口空洞部から根元にかけて樹皮の枯損が見られる。

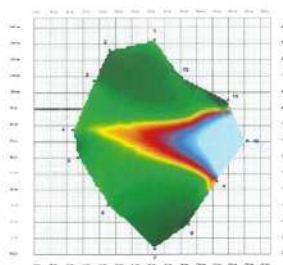
枯損した大枝は落下のリスクが大きいので要剪定

●精密機器を用いた精密診断結果（腐朽空洞率26%）

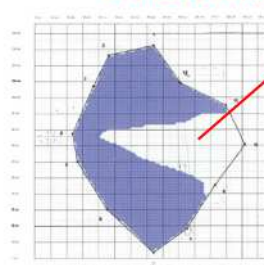
計測時の伝達経路



想定断面図 ▲北側



腐朽空洞部分（白い部分）



健全部推定範囲

<参考>

健全度判定の見方

A	B1	B2	C
健全か健全に近い	注意すべき被害が見られる	著しい被害が見られる	不健全

名木第12号マルバヤナギ（診断結果）



【診断について】

※R 8年4月22日

外観診断・精密診断を実施

※2つの大幹で構成される樹木

●腐朽空洞率

幹A 75%、幹B 59%

●健全度判断

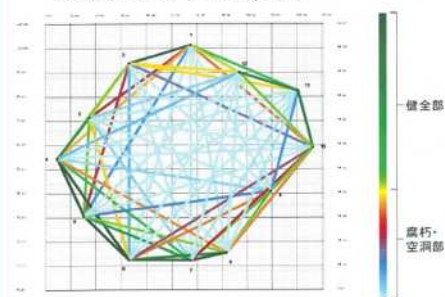
C（不健全）

●診断結果

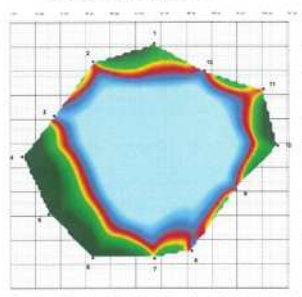
梢端枯れ、大枝の枯損、大枝の複数箇所では芯に達する開口空洞あり。幹裂けや幹折れ、大枝の折損の危険性のため、樹木の更新が妥当

幹A ●精密機器を用いた精密診断結果（腐朽空洞率75%）

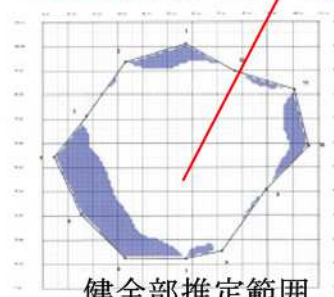
計測時の伝達経路



想定断面図 ▲北側

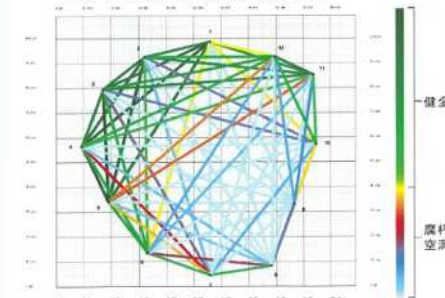


腐朽空洞部分（白い部分）

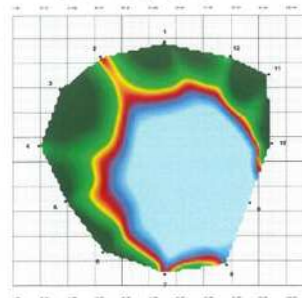


幹B ●精密機器を用いた精密診断結果（腐朽空洞率59%）

計測時の伝達経路



想定断面図 ▲北側



腐朽空洞部分（白い部分）

